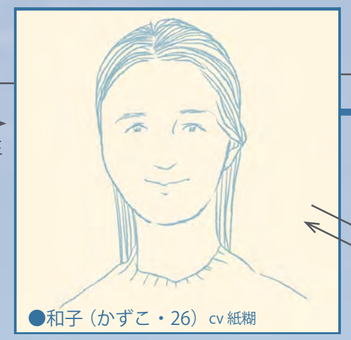
登場人物
人物相関図

過去　2011.03.11　　現代　2023.03.11



●和子（かずこ・26）cv 紙糊

大学時代に出会った、凪の親友。
猪苗代町で生まれ育ち、男女問わず世話好きで顔も広く、笑い方も豪快な女性。

タイムスリップしてきた中学生の凪に福島を案内する。

”今の福島”を案内する

現代の福島で頼りになる存在

知り合い同士。凪と引き合わせる。

後輩

先輩

●真平（しんぺい・23）cv 本田真也

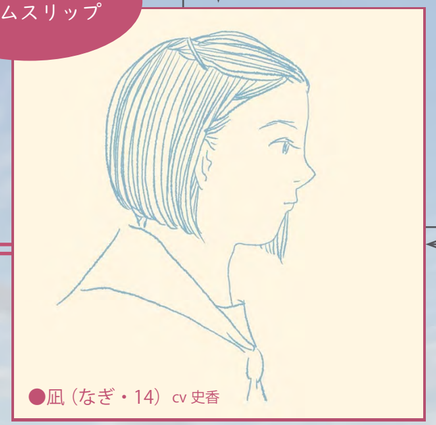
凪と和子の大学時代の後輩。
キャンパスライフを謳歌し、今を楽しむ大学生。福島での生活を両親は心配しており食材への反応はその影響。

震災については興味はなかったがタイムリップしてきたという凪の影響で震災後の福島を知ろうとする。

過去の凪の案内を頼む

親友同士

１２年後に
タイムスリップ



●凪（なぎ・14）cv 史香

大熊町の中学２年生。
真面目すぎるところがあり、悩むと大好きなおばあちゃんをよく訪ねる。目下の悩みは進路のこと。

ある日、2011 年から 12 年後の 2023 年にタイムスリップしてしまう。

孫と祖母

●おばあちゃん（70 歳）cv 本田節子

会津で農家を営む凪の祖母。
代々受け継いだ農地で、土や水を大切にした野菜作りを続ける。
孫である凪をかわいがり、温かく見守る。

徐々にお互いを分かり合う

●大人の凪（なぎ・25）cv 史香

2023 年現在の凪の姿。
自身が過去タイムスリップした経験をもとに、親友の和子に過去の凪を案内するようお願いする。

進路に悩んでいた過去の自分に対して、福島の 12 年間を知ってもらうことで答えを導き出してもらいたい想いがある。

将来のわたしって、
何をしているの？

手紙で想いを伝える

ドキュメンタリーパート

ご本人役
●庄子ヤウ子

大熊町出身。會空代表。
震災により避難した会津若松市で会津木綿で作ったクマの人形、あいくーを製作。
その愛くるしい姿が話題を呼び、県内外、国内外でファンの輪が広がっている。

ご本人役
●横山和佳奈

浪江町出身。小学６年生のときに被災。
震災時、震災後の貴重な実体験を東日本大震災・原子力災害伝承館の職員・若き語り部として、広く伝えている。